

第17回 運営・研究部会

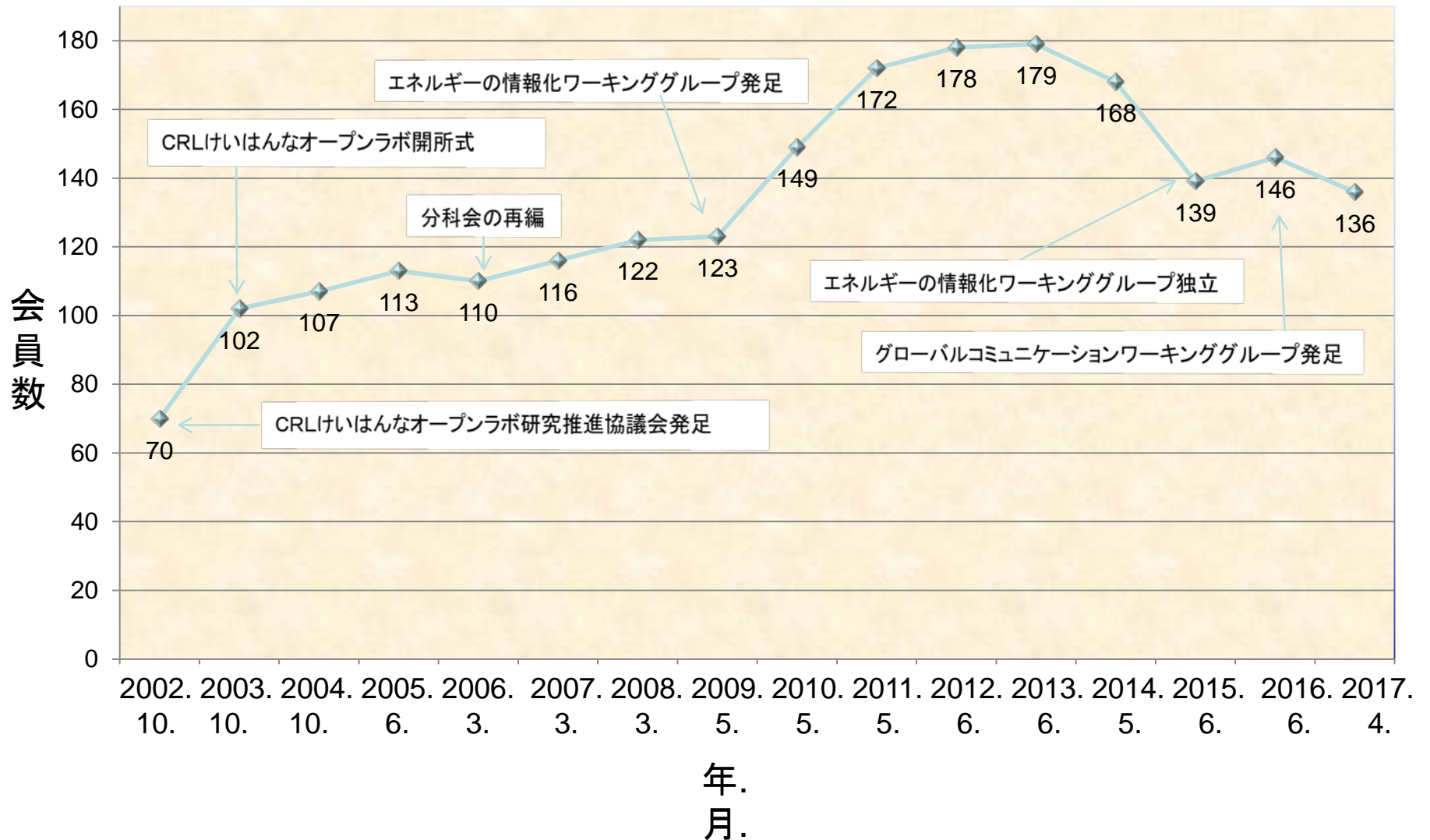
平成28年度活動報告・29年度計画(案)、
および、オープンラボ利用状況

平成29年5月11日

平成28年度活動トピックス

- けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2016「最先端スマートアグリ技術とビジネス」を開催した(11月29日、京大附属農場)。
- セミナー「最新気象レーダが拓く安心・安全な社会2016」(12月22日)、「ICTを活用した農業」(3月8日)を開催し、情報提供、人材育成を実施。
- けいはんな情報通信フェア2016(11月10-12日、けいはんなプラザ)とグローバルコミュニケーションシンポジウム2016(9月23-25日、東京ビッグサイト)において、展示をおこない、研究活動の紹介とアピールを実施。
- 総会での講演会を企画、実施した(サントリー水科学研究所長渡邊礼治氏によるご講演、6月12日)。
- グローバルコミュニケーションWGを準備WGから移行し、活動を本格化した。

会員数の推移



分科会参加状況（平成28年4月現在）

新世代ネットワーク分科会	
分科会（のべ人数）	37
相互接続性検証WG	37

ユニバーサルコミュニケーション分科会	
分科会（のべ人数）	46
ユビキタスネットワークロボットWG	12
映像コミュニケーションWG	6
気象レーダーWG	5
グローバルコミュニケーションWG	23

※グローバルコミュニケーションWG設立にあたり新たに加入した会員12者

アイ・ディー・エー株式会社、有限会社アィムエーススタジオ、明日香村、株式会社ATR-Trek、株式会社京都銀行、京都市、TOA株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社博報堂、福井街角放送株式会社、南泰浩教授(電気通信大学)、中村篤教授(名古屋市立大学)

平成28年度オープンラボ利用状況

<新世代ネットワーク分野>





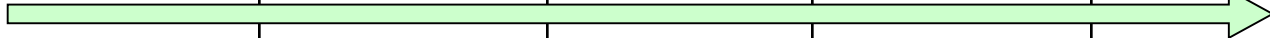





プロジェクト名	研究機関	人数	研究概要
自律分散型情報管理基盤技術の研究開発	有限会社 咲楽屋	3	SDN等の仮想ネットワーク技術を用い、複数拠点間でシームレスなネットワークを統合的に管理し、物理的に離れた拠点に配備されたネットワークシステムと統合的に運用するための自律分散型情報管理システムの研究開発をおこなう。
クラウド環境下における各種資源の最適な配備選択方式の研究開発	株式会社 アットフィード	5	クラウド環境下において計算資源を共有したり、計算資源を最適化したりするための技術開発をおこなう。
2	2	8	合計

平成28年度オープンラボ利用状況

<ユニバーサルコミュニケーション分野>

プロジェクト名	研究機関	人数	研究概要
自動車運転行動情報センシング評価システムの長時間実業務仕様化とその全国的使用による交通安全情報マップの構築	株式会社 ATR- Sensetech	5	事故防止のための運転技能自動評価システムのユーザ親和性を格段に向上させ、かつ長時間の連続計測を可能にして、運送業務中のリアルタイム計測・分析をするシステムを開発する。
空中映像システムの開発	株式会社 パリティ・イ ノベーションズ	5	明瞭な裸眼空中映像表示システムの実現を目的として、光学素子の性能向上を目指した研究をおこない、空中映像によるコミュニケーションを最適化するユーザインターフェースを開発する。
ウェアラブル香り制御装置の研究開発及び実用化	株式会社 アロマジョ イン	6	超小型の香り制御装置を開発し、仮想現実コンテンツに臭覚といった情緒や長期記憶にかかわる香り情報を提供することで新しい付加価値を創出する。
IoTを活用した安全管理支援システムの研究開発	株式会社 プロキダイ	3	ストレスフリーな着け心地のマルチ生体電極技術をベースに、心拍数、呼吸、体温等をセンシングできるセンサーと遠隔で監視できるシステムを構築する。
4	4	19	合計

平成29年度のスケジュール(案)

	平成29年度 4月	7月	10月	1月	平成30年度 4月
総会	 第16回総会6/7				 第17回総会5月頃予定
運営・研究部会	 第17回部会5/11				 第18回部会4月頃予定
分科会	 企画・広報分科会: 研究開発プロジェクトの企画、研究交流、 研究活動推進支援、成果活用促進  研究系分科会: 研究開発プロジェクトの推進等				
シンポジウム等		 セミナー	 けいはんな情報 通信フェア 2017(10/26-28)	 セミナー	 協議会主催 シンポジウム